

平成27年度 事業報告書

★ 大阪工業技術専門学校

1. 学科別出願者、入学者数の状況

(平成28年5月1日現在)

学科名	区分	定員	出願者	入学者
建築学科		80名	91名(71)	87名(66)
建築設計学科		40名	22名(27)	20名(26)
設備環境デザイン学科 (旧: 建築設備学科)		25名	10名(15)	10名(15)
インテリアデザイン学科		40名	19名(26)	18名(25)
大工技能学科		40名	32名(47)	31名(47)
ロボット・機械学科		40名	45名(48)	41名(45)
建築士専科		50名	49名(61)	41名(51)
Ⅱ部建築学科		80名	59名(50)	57名(50)
フレックス建築学科		40名	5名(2)	5名(2)
合 計		435名	332名(347)	310名(327)

() は昨年度数

2. 就職の状況

① I 部 卒業生

(平成28年3月31日現在)

学 科 名	平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率
建築学科	36	13	11	85	62	24	23	96	74	41	41	100
建築設計学科	23	16	14	88	24	17	16	94	21	17	16	94
建築設備学科	22	14	14	100	11	9	9	100	12	10	10	100
大工技能学科	26	20	20	100	27	19	19	100	30	22	22	100
インテリアデザイン学科	18	11	10	91	14	13	12	92	18	17	14	82
ロボット・機械学科	26	26	25	96	28	28	25	89	35	35	34	97
建築士専科	42	42	40	95	43	42	39	93	45	44	44	100
合 計	193	142	134	94	209	152	143	94	235	186	181	97

※ 内定率は、内定者÷求職者で、単位は%です

3. 教育行事

- 1) 企業研修 夏季:全学科合計94名 (H26:49名、H25:36名)
春季:全学科合計67名 (H26:42名、H25:27名)
※ 夏季または春季休暇期間中の1~2週間で実施
- 2) 大阪市& JR西日本との連携事業「大阪環状線プロジェクト」の参加
⇒ OCT 入選提案作品を活かした「森ノ宮駅」改装が完成し、リニューアルオープン記念式典(H27/5/29)に関係者参列
- 3) 大阪市福島区との連携により、福島区長へのまちづくり提案
⇒ 「私たちのまちづくり提案」を1号館4階にて実施 (H28/2/8)
- 4) 泉佐野丘陵緑地開園に伴い「半坪木造軸組み」を移設
※ 開園イベントで学生による組み立てを披露、その後、子供を対象としたワークショップを開催
⇒ H27年GWに副知事が視察、OCT120周年記念式典の場において感謝状を賜った
- 5) 大阪府貝塚市農業庭園「たわわ」、大阪府箕面市「瀬川保育園」へ実習作品寄贈、設置
- 6) OCT ロボット競技会の実施及び全国専門学校ロボット競技会への参加
⇒ 「ロボコム賞」受賞
- 7) 第28回 Honda エコノパワー燃費競技鈴鹿大会 (エコラン) への参加
- 8) 保護者会の実施 (H26年度より建築系、機械を別開催)
※1年生対象:入学式後と12月(計2回)、2年生対象:5月開催(1回)

4. 教育改革等

「授業支援システム」は昼夜間部共通プラットフォーム、スマホ対応になったこともあり、H26年度に比して学生の利用が活発化した。特に設計学科や夜間部等のリカレント生においてアクセス頻度が高い傾向である。しかし現システムでは動画教材の配信に問題があり、主として講義概要案内とプリント教材の閲覧に留まっているのが実情である。年度末の春期休暇中に実施のシステムバージョンアップにより、さらなるコンテンツ充実を目指していく。

「企業研修」への参加学生数は年度を経て増加を続け、春夏とも過去最高の参加者数となった。しかしながら受け入れ企業数にはまだ余裕を残しているのが実情である。企業研修は職業意識の強化、適性の確認等、進路意識向上に効果を上げるものであり、企業においては採用活動そのものに繋がっている場合もある。研修参加学生数の増加に向けて継続的な学生指導が必要と思われる。

全学科(建築士専科・フレックス建築学科を除く)に於いて「職業実践専門課程」に認定されており、実践的教育活動に向けたコンテンツ作成の検討を継続的に行っていく。また、真の意味での職業実践、産学接続を実現すべく各学科で企業、行政等と連携した教育行事を行った。(上記「3.教育行事」参照)

H27年度より「留学生対象日本語サポート授業(15コマ)」「公務員・編入、進路講座」(進路支援室主導)を実施した。一定の効果を挙げていると思われ、次年度も継続実施する。

(1) 資格取得強化事業

新入生全員に対して実施している『ビジネス能力検定3級(文科省後援)』と建築士専科が100%

合格を目標としている『2級建築士試験（国家資格）』の合格率は下記の通りである。

全学科（1年生）

（平成27.12.6実施）

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
ビジネス能力検定3級	147名	122名	83.0%	81.0%

※なお、2級受験者の結果（合格4名/受験8名）

建築士専科

2級建築士試験					
	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率	全国平均
学科試験（1次）	43名	33名	10名	76.7%	30.1%
製図試験（2次）	33名	20名	13名	60.6%	54.0%
総合	43名	20名	23名	46.5%	21.5%

☆ エクステンション事業

資格取得支援事業として、主に卒業生及び在校生を対象に各種試験対策講座を実施した。

・講座事業

資格試験対策講座	受講期間	受講時間	受講者数
2級建築士合格講座（学科）	3か月	106時間	18名
2級建築士合格講座（製図）	2か月	66時間	12名
第2種電気工事士講座（筆記&技能×2回）	4か月	123時間	30名
合計			60名

*積水ハウス住宅大学プロジェクト

パイロット版として、1/23, 24, 30, 31に入社1年目社員約20名に研修（講習）を実施した。

☆ 校友会の活動状況

1. 総会および懇親会の開催

平成27年11月14日（土）梅田スカイビルにて開催、母校創立120周年特別記念講演会には成瀬國晴先生（イラストレーター）をお迎えし、創立120周年にふさわしい天満橋界隈の歴史と母校の位置づけ、また「男の財は友なり」と題して、重山徳浩先生との出会い「故 藤本義一さん」との出会いのすばらしさなどを語って頂いた。

2. 支部活動では、世界遺産・宇治めぐり（京滋支部）OCT Walk in 高野街道（大阪支部）秋の旧山邑邸展望会（兵庫支部）などを実施。一方、関東支部（東京都、神奈川県、千葉県会員対象）を設立し、甲信越、東北、北海道を除く地域に校友会支部が設立された。

3. ビジネスサロンにおいては、ヴェネツィア・ヴィエンナーレ建築展・日本館展示作品に母校卒業生作品

が展示されるため、その支援活動を行った。

4. 母校創立 120 周年記念 福田益和理事長藍綬褒章受章記念祝賀会開催において協力させて頂いた。
5. その他、例年通りドラゴンボート選手権大会に出場、外国留学生歓迎会、資格取得者への報奨金制度、校友会ネットワーク推薦制度、在学生への助成などを実施した。

★ 大阪リハビリテーション専門学校

1. 入学試験の状況

学科名 \ 区分	入学定員	志願者	合格者	入学者
Ⅱ部理学療法学科（3年制）	40名	76名 (54)	45名 (45)	41名 (38)
Ⅱ部作業療法学科（3年制）	40名	48名 (33)	41名 (32)	40名 (32)

() は昨年度数

理学療法学科、作業療法学科ともに入学定員を確保した。特に作業療法学科においては開設 4 年目にして初めて定員を確保するに至った。両学科ともに 140% 強の志願者増をみたものの、競争倍率は 2 倍を下回っており、特に作業療法学科においては無競争に近い状態であった。

入学定員の確保と学生の質の担保というジレンマを克服するためには何よりも志願者増が焦眉の急である。

2. 国家試験の合格者数の状況

専任教員による国家試験対策授業、校内模擬試験、外部講師による直前対策セミナーを実施し、以下のとおり国家試験に合格した。

(1) OCR の合格状況

	受験者数	合格者数	合格 率
理学療法士	36 名	33 名	91.7%
作業療法士	20 名	20 名	100.0%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	12,515 名	9,272 名	74.1%
作業療法士	6,102 名	5,344 名	87.6%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士 3,129 件、作業療法士 3,078 件であった。

両学科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通り成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学科	36	33	32	1
作業療法学科	21	20	19	0

4. 教育指導

両学科とも夜間学科として勤労学生等の学びやすい環境を整備する観点から、カリキュラム編成、時間割編成についての検討を重ねた。理学療法学科では検討の結果、平成28年度より18時間開講とし、土曜日の夜間においても授業を行うことを決定し、各監督官庁に所与の手続きを行った。

作業療法学科では、同様の理由から現在行っている時間選択制を続け、その功罪について検討を重ねることとした。

5. 学習環境(施設)の整備について

「私立大学等研究設備整備費等補助金」の交付を受け、1号館、2号館の無線LAN敷設工事を行った。これにて全館のあらゆる場所にてWi-fi接続が可能になった。

また、601教室、講堂の音響機器、映像機器をデジタル対応の物に更新した。

★ 大阪保健医療大学

1. 入学試験の状況

区分 専攻名	入学 定員	志願者					入学者
		AO	公募制 推薦	一般 (センター併 用)	社会人	合 計	
理学療法学科専攻	70	102 (46)	122 (107)	81 (113)	0 (0)	305 (266)	77 (69)
作業療法学科専攻	30	29 (24)	30 (36)	30 (50)	1 (0)	90 (110)	32 (40)
言語聴覚専攻科	40	—	—	49 (35)	—	49 (35)	36 (23)
保健医療学研究科	6	—	—	7 (4)	—	7 (4)	7 (4)
合計	146	131 (70)	152 (141)	167 (202)	1 (0)	451 (413)	152 (136)

(第2志望含む) ()は昨年度数

リハビリテーション学科、大学院保健医療学研究科においては入学定員を確保したが、言語聴覚専攻科においては昨年に引き続き定員確保に至らなかった。国家試験の顕著な成績をもってしてもこのような状態にあることの分析、対策が焦眉の急である。

2. 国家試験の合格者数の状況

学部では専任教員による国家試験対策授業、TAによる対策講座、校内模擬試験、外部講師による対策セミナー等を実施するなど、両専攻主体に組織的な取り組みを行った結果、リハビリテーション学科の第四期生の合格率は下記の通りの結果であった。しかし、開設以来最低の水準でもあったことから、今後の改善策を講ずることが急務ある。

言語聴覚専攻科においては、OCR時代より15年連続合格率第一位を達成した。

(1) OHSU の合格状況

	受験者数	合格者数	合格 率
理学療法士	49名	40名	81.6%
作業療法士	27名	24名	88.9%
言語聴覚士	36名	36名	100.0%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合格 率
理学療法士	12,515名	9,272名	74.1%
作業療法士	6,102名	5,344名	87.6%
言語聴覚士	2,553名	1,725名	67.6%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士 2,946 件、作業療法士 3,140 件、言語聴覚士 1,596 件であった。

各専攻、専攻科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通り成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学専攻	49	40	40	0
作業療法学専攻	27	24	22	0
言語聴覚専攻科	36	36	36	0

4. 教育指導

学部においては資格取得に向けてのモチベーションの維持、国家試験合格率の向上、退学率の抑制、等々を目指して教育システム上の様々な検討を加え、平成 28 年度からの運用に向けて下記の通り決定した。

- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに則したカリキュラムの抜本的な改訂
- ・履修系統図の制定
- ・CAP 制の導入
- ・GPA 制を用いた退学勧告制度の制定
- ・入試における個人面接の多用と面接評価ポイントの改訂

5. 施設・設備

「私立大学等研究設備整備費等補助金」の交付を受け、1号館、2号館の無線 LAN 敷設工事を行った。これにて全館のあらゆる場所にて Wi-fi 接続が可能になった。

また、141 教室、151 教室、601 教室、講堂の音響機器、映像機器をデジタル対応の物に更新した。

6. 自己点検・評価

かねてからの計画であった日本高等教育評価機構の大学認証評価を受審し、「適合」の認定を受けた。今後は、付された改善意見 2 点とその他の意見への対応策を講じていく。

また、これを基に毎年の自己点検・報告書を作成、公表し、来る 7 年後の認証評価に備えることを決定した。

☆ 福田学園校友会の活動状況

1. 理事会及び部会の開催

①理事会

理事会は6回開催され、研修活動、在校生支援活動、総会準備、予算案、理事選出、フェイスブックの利用等について積極的な議論がなされた。

②部会

PT部会では研修会を4回、OT部会では研修会を5回、ST部会では研修会を3回実施した。

2. 福田学園校友会研修会実施について

次のとおり平成27年度研修会〔対象：校友会正・準会員〕を実施した。

日 時：平成27年5月17日

講 師： 松下 真一郎先生（奈良県総合リハビリテーションセンター ST）

テーマ：「神経行動学的知見からみた嚙下障害」

3. 在校生・学校支援について

- ・在校生支援として、図書室に30万円分の図書を寄贈した。
- ・会員支援として、カンボジアスタディツアーに助成金を出した。
- ・学校式典、入試説明会、1年生向け体験説明授業等に参加した。
- ・日本国際ドラゴンボート選手権大会にOCT校友会と合同で参加した。
（スモール選手権部門 3位入賞）
- ・フェイスブックを利用した広報活動開始した。

★ 福田学園

1. 理事、監事、評議員について

理事	選出母体		評議員	選出母体	
1号	設置する学校の長（1名）	福田 益和	1号	学園職員（6～8名）	福田 益和
2号	評議員会（2名）	宮崎 安弘			佐藤 誠
		佐藤 誠			伊東 和幸
3号	学識経験者（4名）	山本 一仁			石倉 隆
		渡邊真一郎			井上 悟
		福田 眞			越智 久雄
		清野 佳紀			宗林 功
監事		水島 洋 村岡 かほる	2号	卒業生（3～4名）	今西 永兒
					高山 厚
		3号	学識経験者（6～8名）	井口 知也	
				宮崎 安弘	
		山本 一仁			

		福田 祐子
		福田 眞
		岡山 保美
		高橋 弘樹
		増原 建作
		清野 佳紀

2. 教職員の状況

		28年5月1日現在	27年5月1日現在	増 減
OCT教員	専任教員	15	14	+1
	非常勤講師	64	64	0
	(小計)	79	78	+1
OCR教員	専任教員	14	15	-1
	非常勤講師	73	72	+1
	(小計)	87	87	0
OHSU教員	専任教員	31	33	-2
	非常勤講師	133	130	+3
	(小計)	164	163	+1
事務局	専任事務職員	26	23	+3
	業務委託派遣事務職員	4	4	0
	(小計)	30	27	+3
合計	専任教職員	86	85	+1
	講師・派遣	274	270	+4
	(合計)	360	355	+5

3. 自己点検評価、学校関係者評価、第三者機関評価及び評価結果公表について

OHSUにおいては、平成27年度に「日本高等教育評価機構」による大学認証評価（第三者評価）を受診し、無事に機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けることができた。ただ、いくつかの項目で、「改善を要する点」、「参考意見」が付けられているため、改善報告書を平成28年7月1日から31日までに提出する。

OCT、OCRについては、職業実践専門課程の認定（申請条件）の中で、文部科学省が策定したガイドラインに基づき、学内における自己点検・自己評価を行い、それを関連業種の企業役員や高等学校長及び保護者を入れた学校関係者評価を行った。また、その結果をOCT及びOCRのホームページ上に公開した。

4. 「教育の質の確保と向上」に向けた3カ年計画の策定について

経済状況の変化やグローバル化、就労に対する価値観の多様化、少子化等、学校を取り巻く環境は、日々が大きく変化している。このような大転換期には、更なる信頼性の向上が求められ、特に教育の質の確保と向上に向けた取組みは不可欠となっている。

このため、OHSU、OCT、OCRにおいては、安定した学生数の確保、教育の質の確保と向上に対する3カ年計画（「中期展望」、「期間中の取組み」、「平成25年度～27年度取組み」）を策定の上、目標設定等具体的項目毎に施策を立案し、実施した。

5. 積極的な情報公開について

財務情報等（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）の公開については、私立大学等経常費補助金算定の際の加算ポイントにもなっていることもあり、平成23年度からは、大学HPでも公開している。昨年からは、学校法人会計と企業会計の違いや、各決算科目の説明及び決算額の経年推移についての資料も添付し、より分かりやすい工夫も行っている。

また、OCT、OCRについては、職業実践専門課程の認定（申請条件）の観点からも、「情報提供のガイドライン」に基づき、自己点検評価、学校関係者評価等最新の情報をOCT、OCRホームページ上に公開した。OHSUでは学校教育法施行規則第172条の2において義務付けられた9項目について「教育情報」としてホームページ上で公開している。

6. 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の指定について

厚生労働省が主幹となり、非正規雇用労働者である若者等がキャリアアップ・キャリアチェンジして安定的に働くことができるよう教育訓練給付が拡充された『専門実践教育訓練』が創設され、OCTでは、昨年指定を受けた建築学科Ⅱ部に加え、平成27年度に建築設計学科・大工技能学科で指定を受けた。OCRについては、平成27年度、PT（3年制）学科において、また、OHSUについては、ST専攻科で指定を受けることができた。

7. 文部科学省委託事業について

OCRにおいては、平成26年度に文部科学省委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進「理学・作業療法の職業実践専門課程の認定要件・第三者評価等に係る先進的取組の推進）」を受託した。平成27年度においても継続して受託し、成果報告会を実施するとともに、大阪フォーラムでも事業報告を行った。

8. 医療関係職種の養成課程の今後の展開について

医療系職種の養成課程について、世間の動向や文教政策についての情報収集を行い、社会のニーズに応え得る学科、課程の新設及び改変について、調査、研究を重ねた。

*** 参考資料**

★大阪工業技術専門学校

<学科別学生数の状況>

(平成28年5月1日現在)

学科名	修業年数	1学年	2学年	在籍数	増減	定員	在籍率 (%)
建築学科	2年	87	61	148	+2	160	93%
建築設計学科	2年	21	22	43	-6	80	54%
設備環境デザイン学科	2年	12	12	24	-3	50	48%
大工技能学科	2年	32	40	72	-6	80	90%
インテリアデザイン学科	2年	18	24	42	-2	80	53%
ロボット・機械学科	2年	44	38	82	+2	80	103%
建築士専科	1年	41	-	41	-10	50	82%
I部小計		255	197	452	-23	580	78%
増減		-25	+2	-23			
建築学科II部	2年	59	47	106	+8	160	66%
フック建築学科	2年	5	1	6	0	80	8%
II部小計		64	48	112	+8	240	47%
増減		+10	-2	+8			
合計		319	245	564	-15	820	69%
増減		-15	0	-15			

★大阪リハビリテーション専門学校

<学科別学生数の状況>

(平成28年5月1日現在)

学科名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率 (%)
理学療法学科	3年	46	38	26	—	110	120	91.7
作業療法学科	3年	42	27	27	—	96	120	80.0
合計		88	65	53	—	206	240	85.8

★大阪保健医療大学

<学科一専攻、専攻科別学生数の状況>

(平成28年5月1日現在)

専攻名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率 (%)
理学療法専攻	4年	82	63	67	56	268	280	95.7
作業療法専攻	4年	35	38	30	23	126	120	105.0
学部小計		117	101	97	79	394	400	98.5
保健医療学研究科	2年	7	4	—	—	11	12	91.7
言語聴覚専攻科	2年	40	20	—	—	60	80	75.0
合計		164	125	97	79	465	492	94.5